

Keio University



新型コロナウイルスと 日本経済

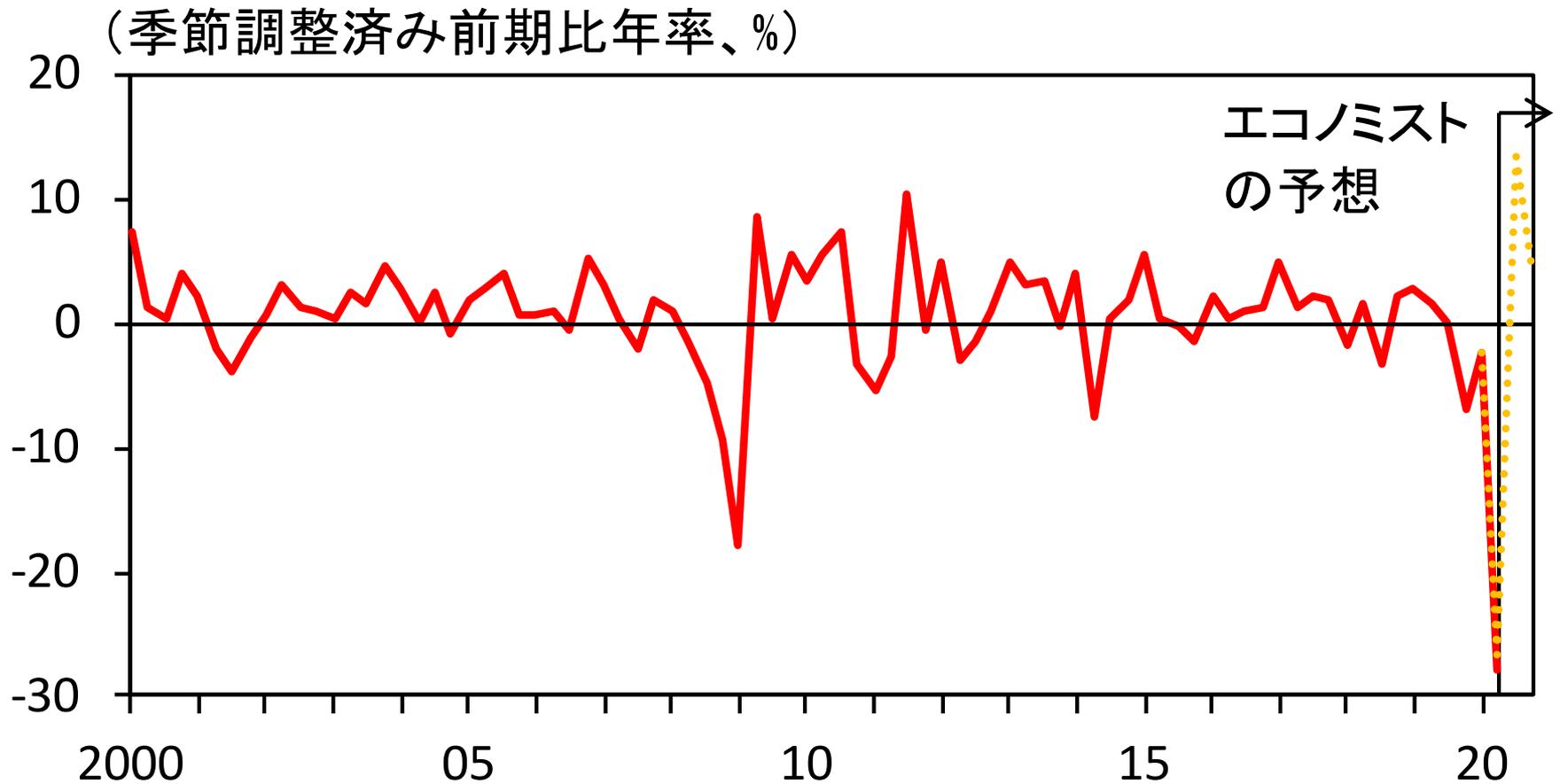
2020年8月

オンライン模擬講義

慶應義塾大学 経済学部

白塚重典

経済成長率



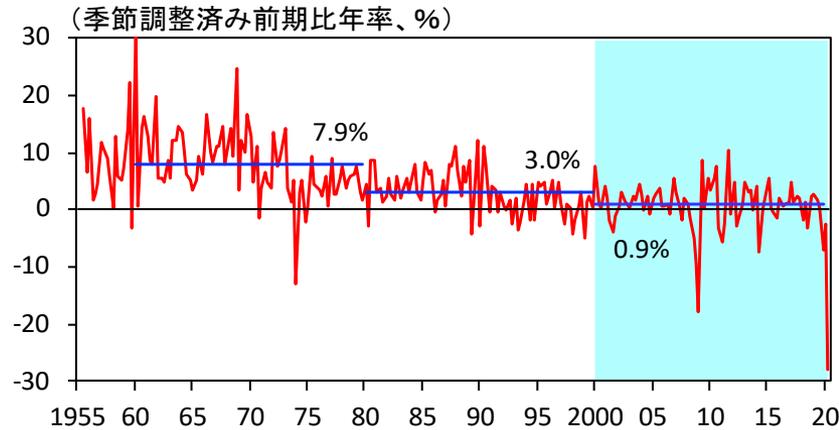
資料:内閣府『国民経済計算』、日本経済研究センター『ESPフォーキャスト』

本日の予定

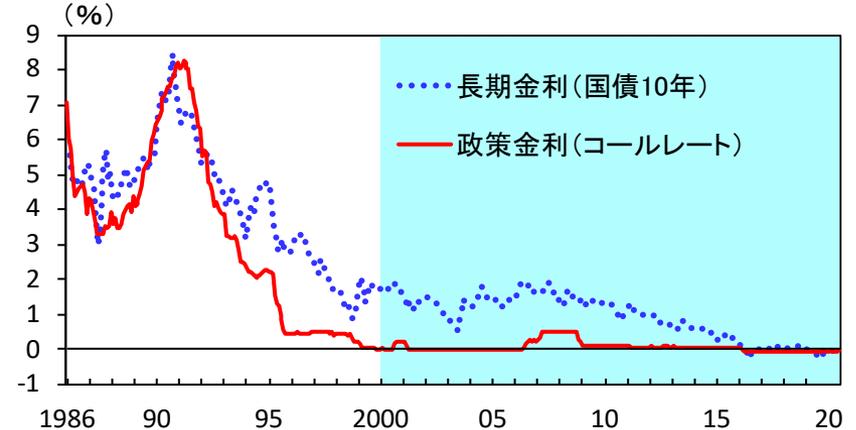
1. 過去20年の日本経済
2. アベノミクス
3. ポスト・コロナ危機時代への課題

過去20年の日本経済

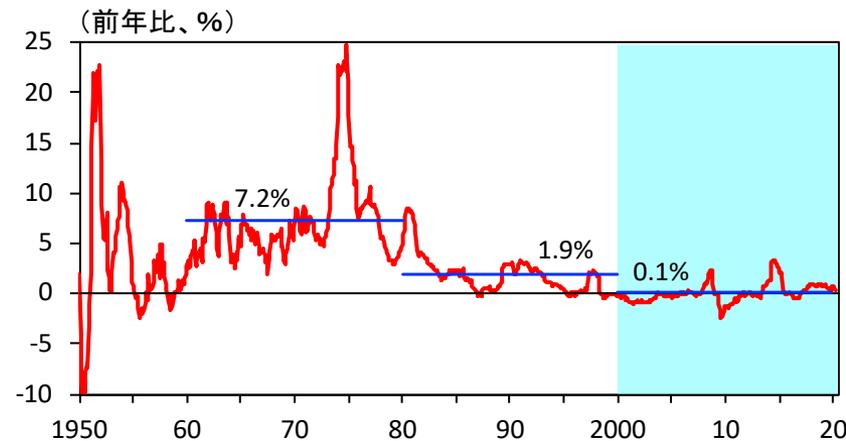
経済成長率



長短金利



消費者物価上昇率



資料: 内閣府『国民経済計算』、総務省『消費者物価指数』、
日本銀行

物価は経済の体温計

- 低成長＋低インフレ＋低金利
- 物価＝体温／お金＝血液
- 恒常的な低体温症：
 - － 慢性的な症状、一時的急性の症状ではない
 - － 処方箋は体質改善、対症療法には限界

本日の予定

1. 過去20年の日本経済
2. アベノミクス
3. ポスト・コロナ危機時代への課題

アベノミクス

3本の矢



金融政策

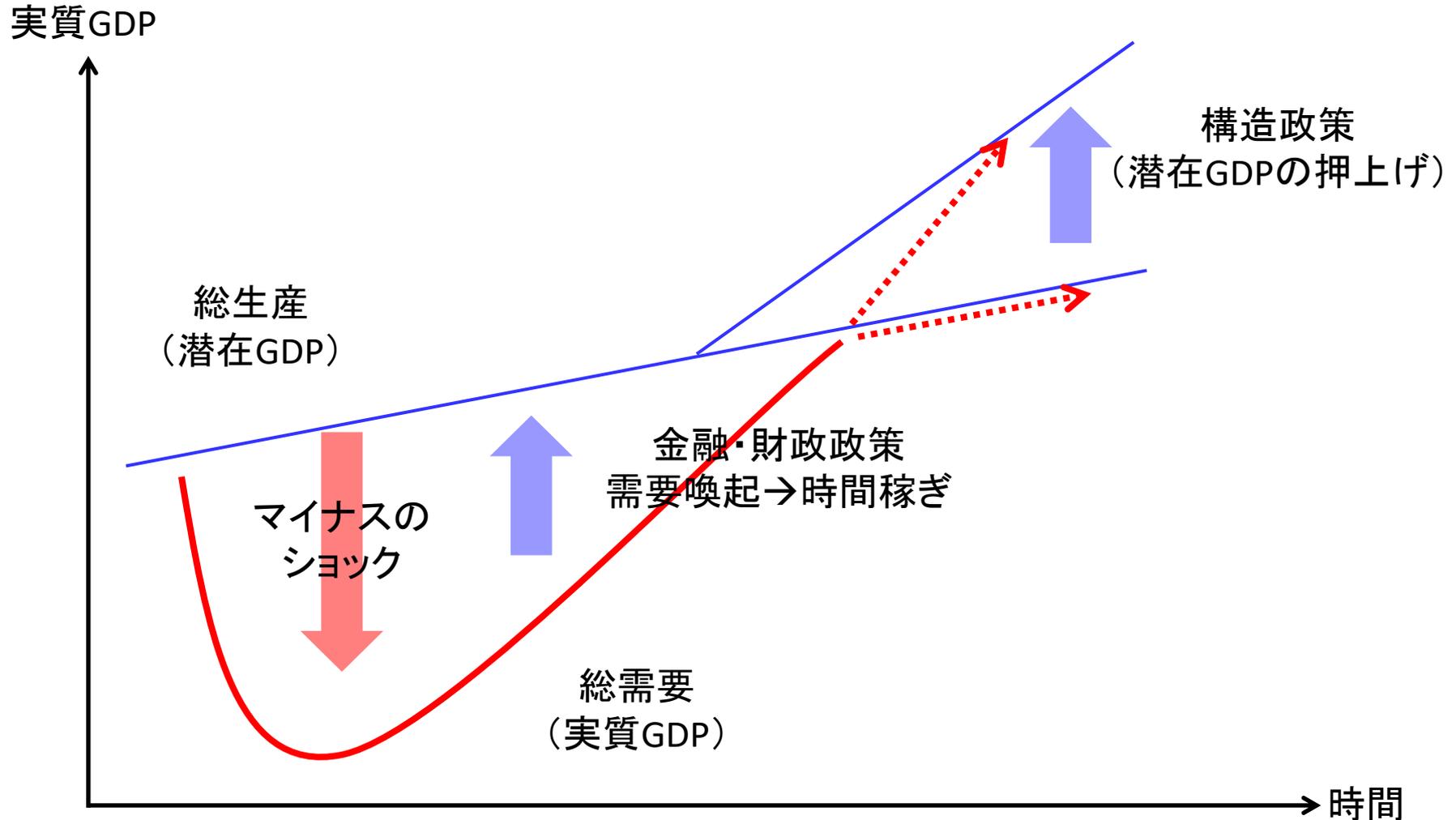
財政政策

構造政策

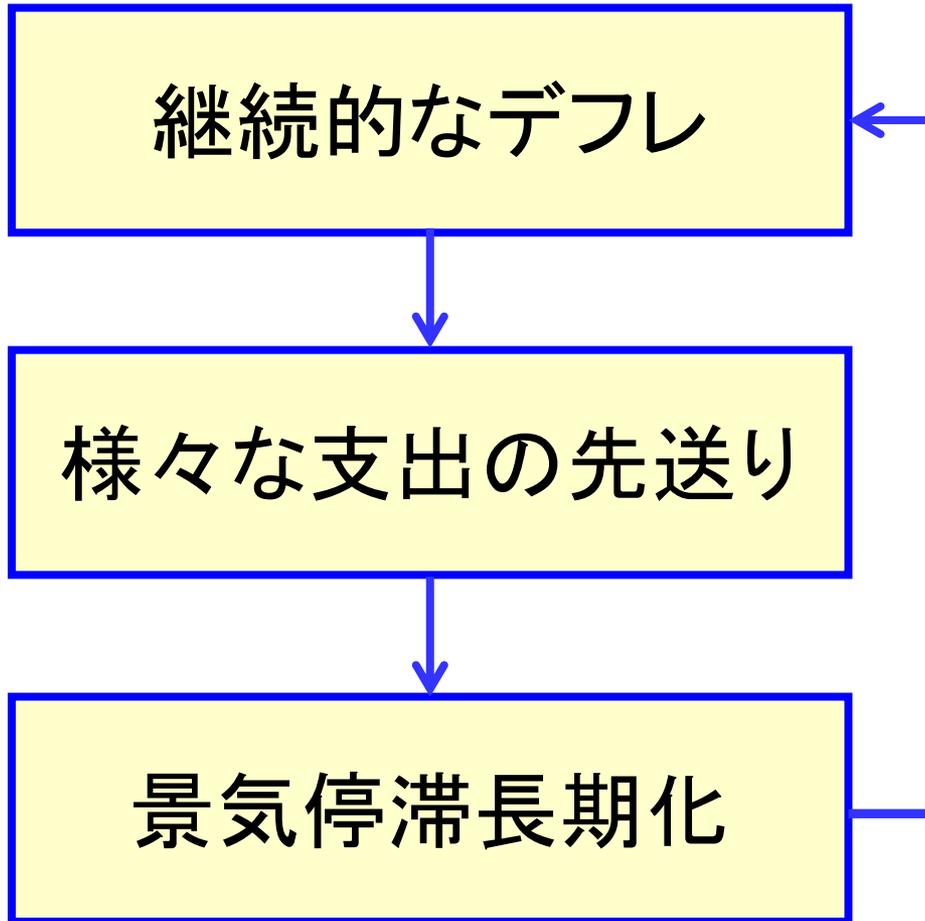


財政規律に対する信認

3本の矢の役割分担



デフレの長期継続

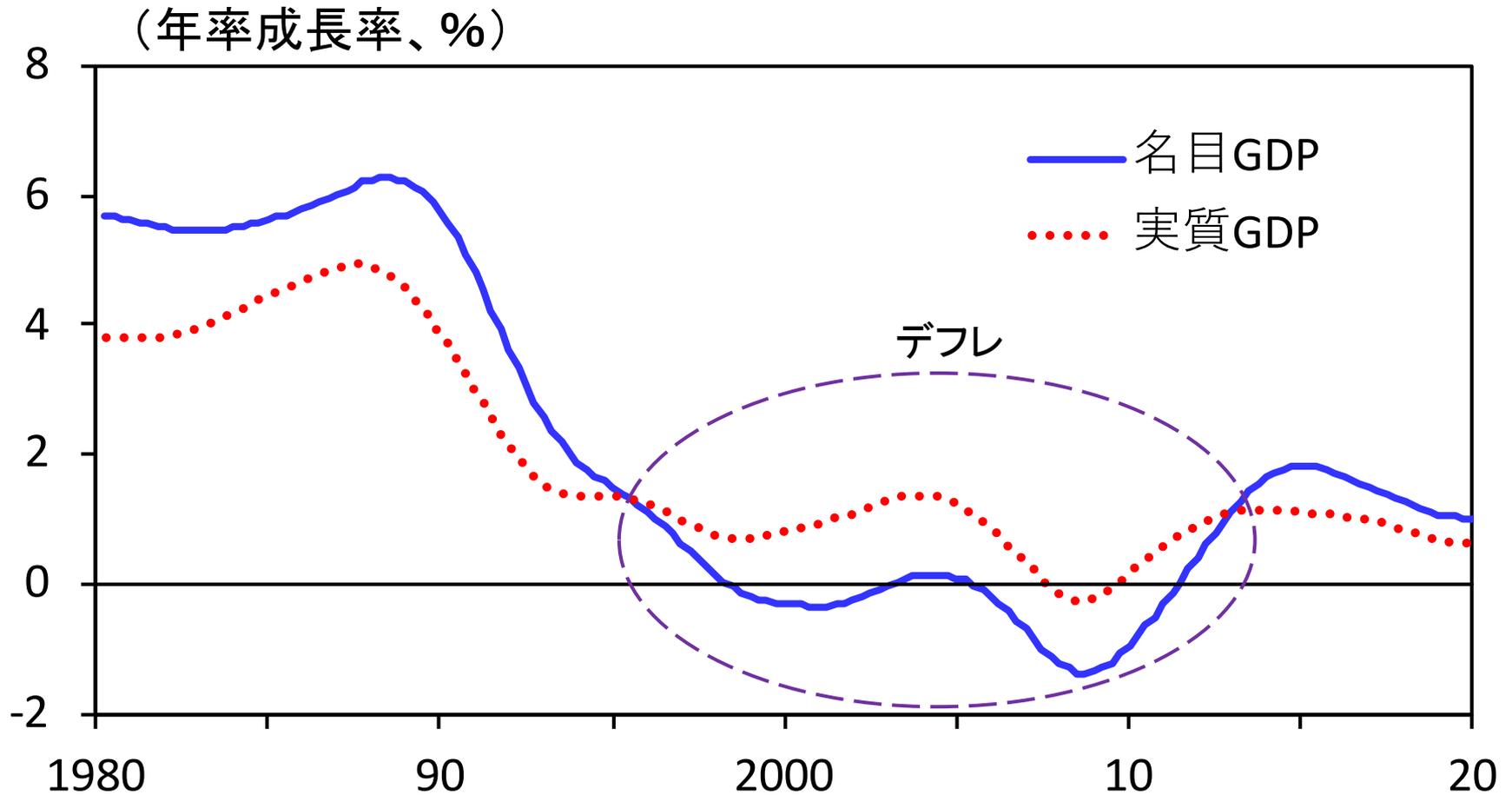


合成の誤謬



デフレ期待の
抜本的な反転
↑
量的・質的
金融緩和
政策効果は？

トレンド成長率

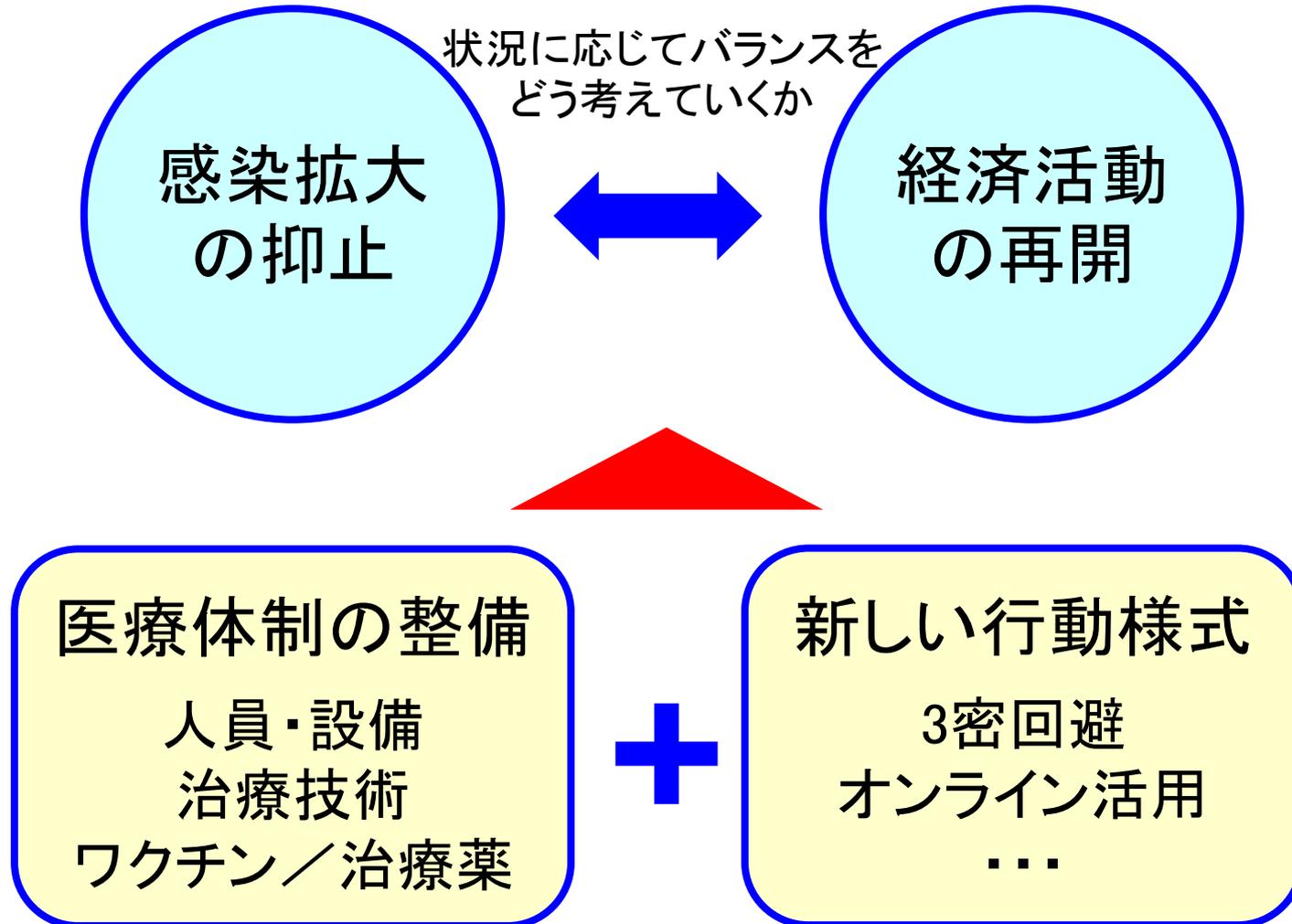


備考: 計数は、HPフィルタトレンドの成長率。
資料: 内閣府『国民経済計算』

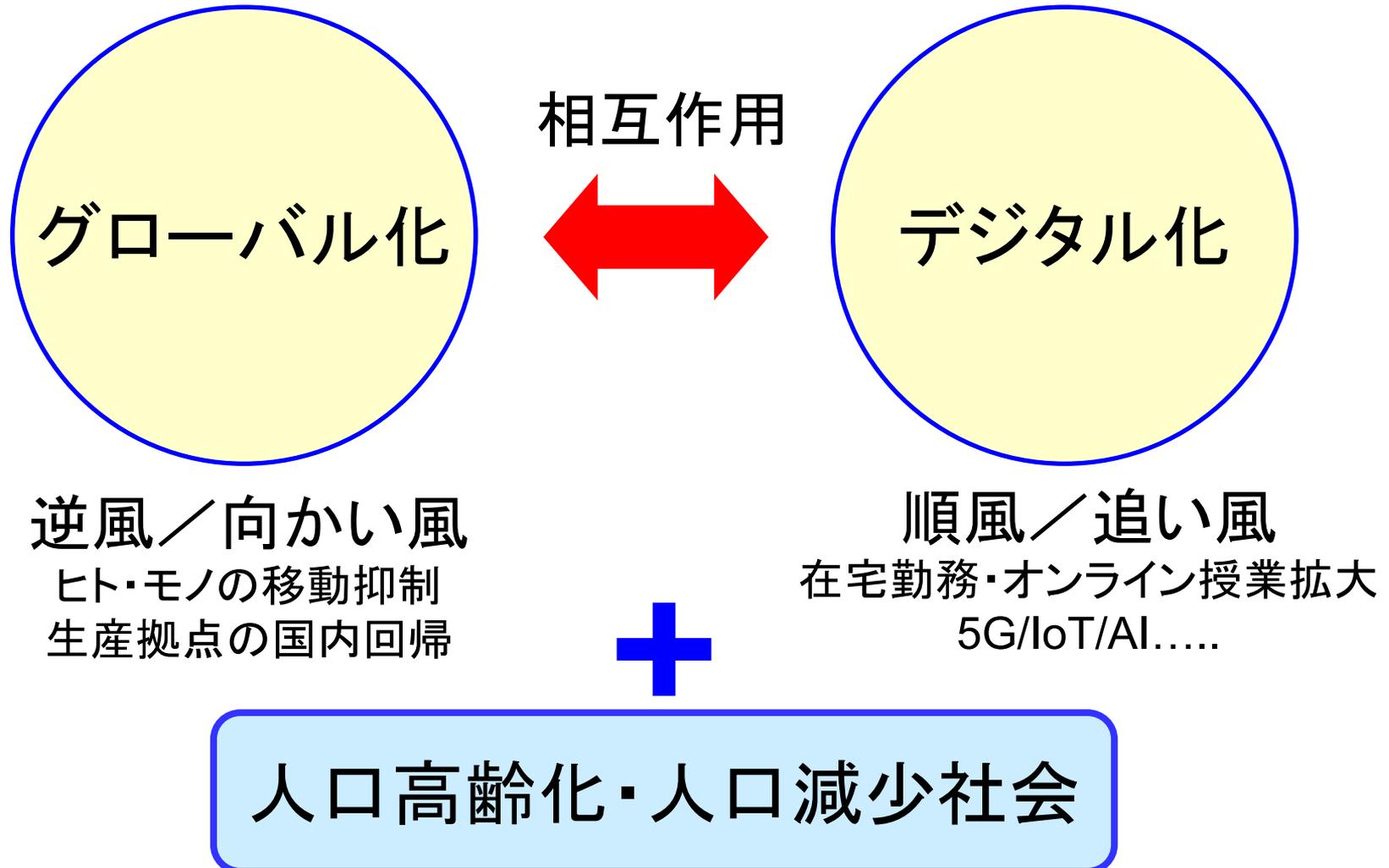
本日の予定

1. 過去20年の日本経済
2. アベノミクス
3. **ポスト・コロナ危機時代への課題**

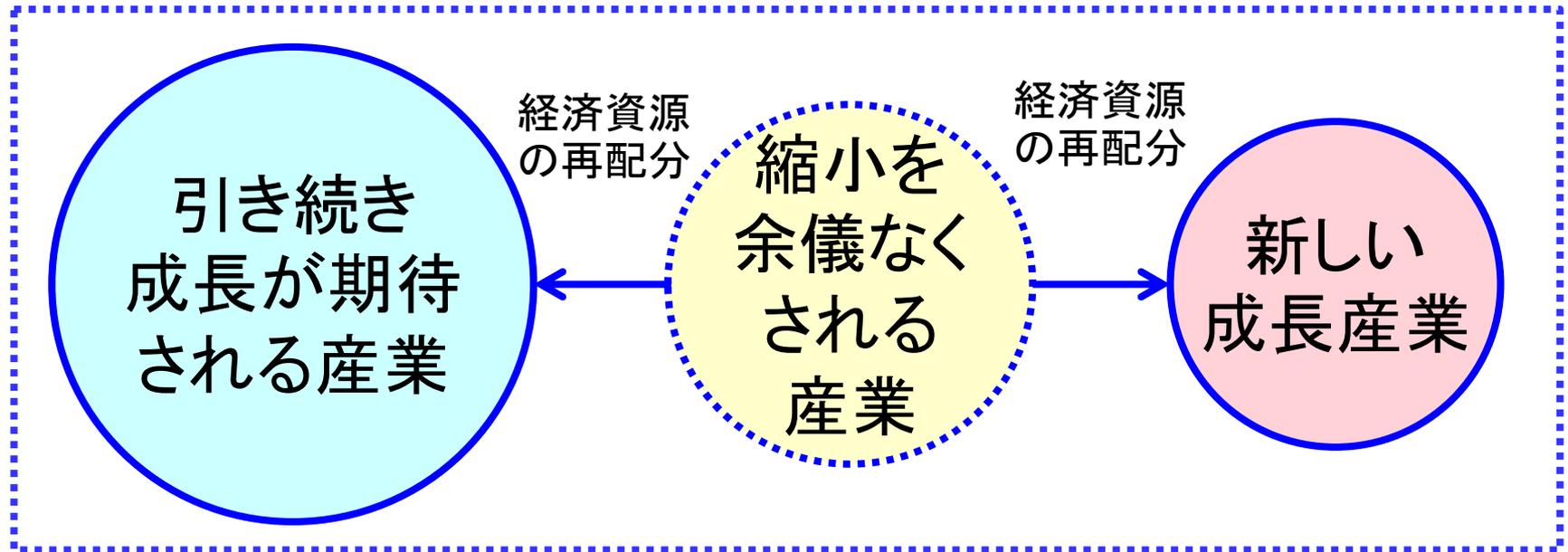
当面の政策課題



ポスト・コロナ危機の世界



さらなる構造変化への対応



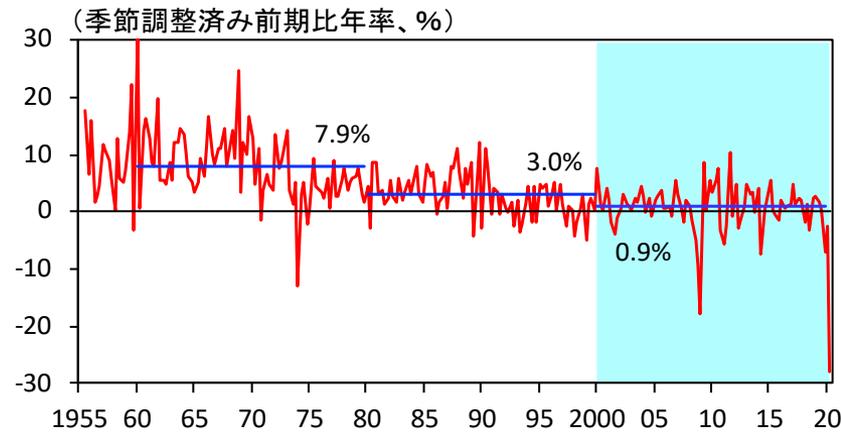
金融・財政政策による強力な支援



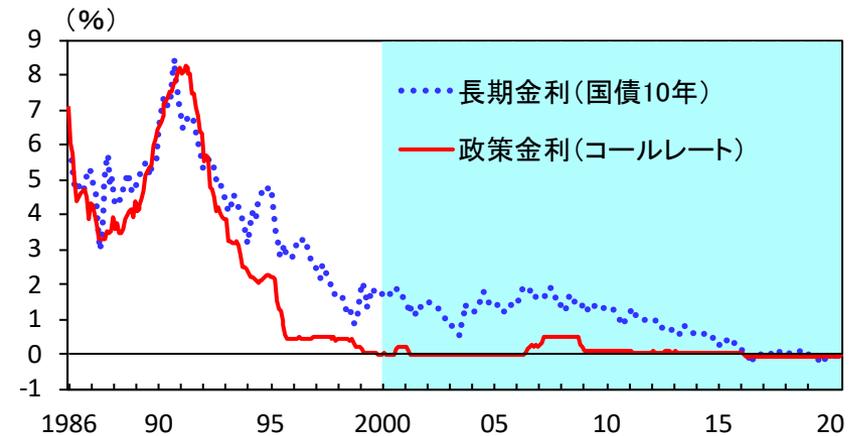
中長期的に低生産性企業の温存、資源の誤配分を助長することにならないよう努める必要

(再掲) 過去20年の日本経済

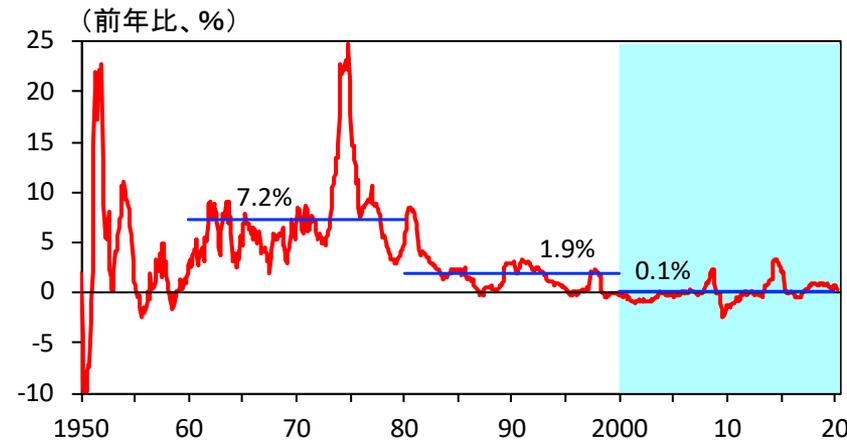
経済成長率



長短金利

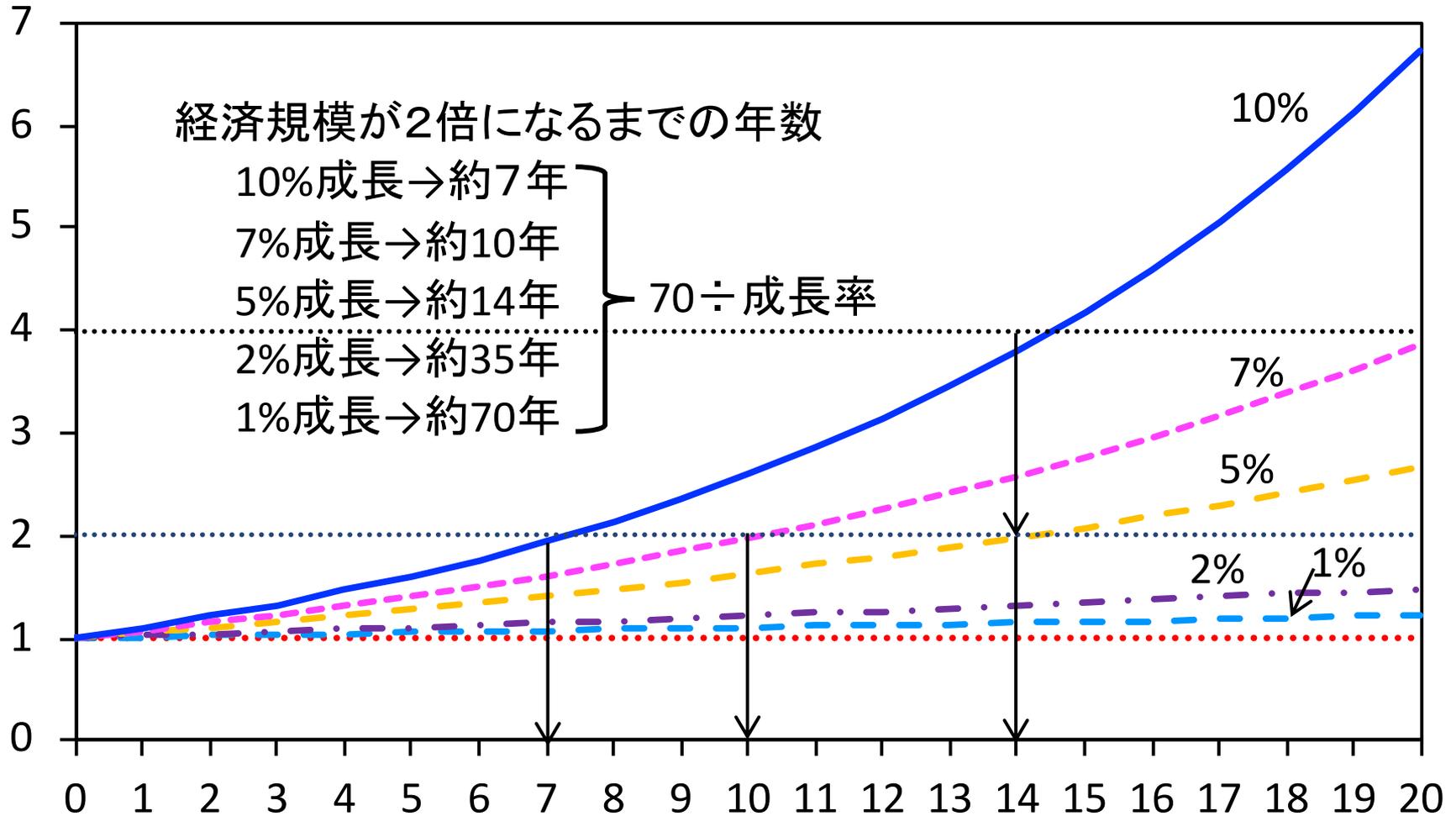


消費者物価上昇率



資料: 内閣府『国民経済計算』、総務省『消費者物価指数』、
日本銀行

70の法則



まとめ

1. 過去20年の日本経済
 - 低成長・低インフレ・低金利→低体温症
2. アベノミクス
 - 「3本の矢」の役割分担
 - デフレではない状況は実現したが長期的な課題はまだ道半ば
3. ポスト・コロナ危機時代への課題
 - さらなる構造変化への対応
 - 短期的な視点と中長期的な視点

(解説)70の法則

年率 $n\%$ の成長が続くと $70/n$ 年後に2倍になる

$$X_{t+h} = 2X_t = (1 + n/100)^h X_t$$

真ん中の辺と右辺について、 X_t で除して自然対数をとる

$$\ln(2) = h \cdot \ln(1 + n/100) \approx (hn)/100$$

$$\ln(2) = 0.693\dots$$



$$h \approx 70/n$$

(解説) 変化率と対数

$$X_{t+h} = (1 + x)^h X_t$$

$$\left(\frac{X_{t+h}}{X_t}\right)^{\frac{1}{h}} = 1 + x$$

自然対数をとる

$$\begin{aligned} & \frac{1}{h} (\ln(X_{t+h}) - \ln(X_t)) \\ & = \ln(1 + x) \approx x \end{aligned}$$

